

週報 南相馬ロータリークラブ



第 39 回 通算 533 回 2019 年 4 月 24 日 (水) 18:30～20:30

相馬 RC・原町 RC・原町中央 RC・南相馬 RC 合同例会
「 観桜会 」

4 月 24 日 (水) ウェディングパーク原町フローラで、18 時 30 分から 4 クラブ合同例会「観桜会」が開催されました。今年度は当クラブがホストとなり、約 50 名のロータリアンが参加しました。アトラクションでは、林博太郎様のハーモニカ演奏、クラブ対抗・缶積み競争を行いました。優勝は相馬 RC、準優勝に原町中央 RC、残念ながら当クラブは参加賞。(参加賞として桃ジュースを頂きました。5 月 7 日の例会で配布しました。) 林先生の素晴らしいハーモニカ演奏に心が豊かになり、缶積み競争では大変盛り上がり楽しい夜のひとときを過ごしました。



第 40 回 通算 534 回

2019 年 5 月 7 日 (火) 12:30~13:30

会員卓話：

「職業奉仕セミナー報告」

職業奉仕委員長 野地庄蔵 会員



「会長の時間」

会長 大谷 和年

495th Program

司会 SAA 青木謙二 会員
大谷和年 会長

開会点鐘／国歌斉唱「君が代」／ロータリーソング「我等の生業」／「四つのテスト」唱和／お客様並びに来訪ロータリアン紹介／会長の時間／昼食／会員卓話／幹事報告／各委員会報告／出席報告／スマイルBOX 報告／閉会点鐘

ガバナー月信 2019 年 3 月号から、地区幹事が寄稿している RLI「ロータリー・リーダーシップ研究会」についてお話をいたします。RLI は平井ガバナー年度から活動を開始し 2020-21 年度の石黒ガバナーまで引き継がれることが決定しています。当クラブからは青田デスクッションリーダーが参加し、4 月 27 日に第 1 回が開催されたとのことで、来月 2 回目が予定されているとのことです。

◆RLI の背景

クリフ・ダクターマン元 RI 会長によればロータリー創始後 100 年を経て、近年、社会構造も変化し、何よりも人や社会に対する意識が変わってきていること、特に事業や職業の世界が激変していることを考慮すべきですと述べられています。そして、青少年や婦人層のロータリアン世代間の意識や感覚に大きなギャップが生じており、社会や文化に対する相互の認識や価値観が違ってきて、ロータリーのあらゆる面で、複雑で矛盾した現象を呈していることを指摘しています。

このような異なった価値観や社会認識を埋めるためには、私たちはその要因である根本的な問題点を分析し、十分に話し合い、各世代のロータリアンやロータリー世界の理解を進めない限り、今後のロータリーの発展は望めないと思われます。昨今、ロータリーの知識不足、話し合い不足、理解不足によりロータリーを去って行く人が多い。本当のロータリーを理解することが基本的な課題だといえます。

◆RLI の目的と意義

RLI は草の根活動であり、ロータリアンの知識を啓発し、1 人 1 人のロータリアンのモチベーションを高め、リーダーシップを涵養するための全世界の地区の連合組織です。RLI は、ロータリーの組織や活動に関して、正しく、深い知識を持ち、高い指導力のあるロータリアンを支援するために活動しており、RI が承認した多地区合同プログラムです。目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性を育て、ロータリーを活性化することです。

◆RLI の歴史

1992 年にアメリカ・ニュージャージー州 7510 地区において、元 RI 理事デビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織です。現在、全世界の 110 か国、約 300 近い地区で活動し、日本では 34 地区中 D2530 地区を含めて 22 地区 (2018 年 10 月) が参加しています。

◆RLI 研修方法

ロータリーをよく理解し、ロータリーに対する意欲を高揚するため、講演や講義ではなく、斬新な討論方法を活用して、参加者による、草の根デスクッション方式で行われます。また研修は決められたテーマについて、みんな意見を出し合って、討議します。参加者は解答の結論を求めるのではなく、課題に対する参加者の発言から、自分自身の解答や方向性を見出す研修方法となっています。

「職業奉仕セミナー報告」

職業奉仕委員長 野地庄蔵会員

4月20日(土)13:00より郡山ユラックス熱海で職業奉仕委員会セミナーが開催されました。当クラブからは、私と岡田幹事が出席してきました。平井義郎ガバナー、酒井善盛地区研修リーダー、田久昌次郎職業奉仕委員会委員長がそれぞれ挨拶をしました。講演が2つありました。

「規定審議会採択結果から見るロータリーの変化」講師に国際ロータリー第2500地区パストガバナー(釧路RC)小船井修一様。2016年に、柔軟性・革新性はクラブの充実、活性化につながるというのが前提でしたが、2019年には、現代化(合理化)とスピードアップ。変革のスピードアップを妨げているのが規定審議会ではないかということでした。ロータリーの大事なことを議論した内容でした。

「輝く瞳に会いに行こう！」講師に国際ロータリー第3360地区チェンライRCパスト会長 原田義之様。職業奉仕にふさわしい内容だと感じましたので講和の内容を報告します。講師の原田氏は、タイ北部・チェンライにありますタイ国立ダムロン高校でボランティア教師を11年間しています。その傍らアカ族村の現地に入り、貧困なアカ族子供たち支援のためミャンマー、ラオス、タイ国境近くのワーヴィ村にあるアカ族子供寮「夢の家」の子供たちへの「就学支援」と「識字率向上」奉仕を行っている方です。

きっかけは、バンコクのホテルでテレビを見ていたら、北タイ・チェンライの貧しい子供たちがNPOから古本の贈呈を受けていた。受け取る子供の瞳が輝いていました。そしてその子供たちの瞳に、私は貧困とは無縁の輝きを見たのです。私も何かしなくてはと思いチェンライに行きました。

貧困な中であっても、瞳を輝かせタイ語を一字一字学習するアカ族の子供たちとの絆は深まるばかりでした。アカ族の子供たちが就学することなく母国語・タイ語の識字機会を得られなければ、重労働や麻薬の運び屋になる。また識字の無い親父は、娘の好まない労働を強いる。



アカ族はタイ北部一帯に集落を形成し点在をしています。アカ族は文字を持たないアカ語で生活をしています。歴史的な居住環境から自民族内での生活が主となっています。従って無就学に近い成婦人も多く、識字率は56%です。しかしタイ国民である以上、タイ語の習得なくして恵まれた生活や、将来への希望にはほど遠いのです。すなわち子供たちのタイ語の習得は必須なのです。

しかしそのような点在集落實態から、子供たちは20キロ離れた小学校で学ばねばなりません。すなわちタイ語を学ぶためには、学校のある村や町で寄宿し、学校に通う必要があります。それが出来ない子供たちがいます。厳しい山岳での親の農業収入は、一万円未満です。子供を寄宿舎に預け学校に通わせることは愚か、働き手として欲しいほどです。子や孫たちの生きる将来に平和な世界を望むなら、子供たちに就学機会と識字機会を支援することです。生活を、学費を支援してあげることです。アカ族の親たちの農業収入では、そのすべてが困難なのです。これを可能にするには、国際奉仕活動を必要としています。

2014年ノーベル平和賞を受賞されたマララ・ユスフザさんが唱えています。「一人の子供、一人の教師、一冊の本、一本のペンでも世界は変えられる。教育こそが、ただ一つの解決策です。」

講演を聴き、講師の原田氏のロータリアンとしての活動に感動しました。自分もやれる範囲で協力していきたいと思いました。



年号が変わり 10 日間の長い休みは、私も皆さんも初めてではないでしょうか。まるでお正月が 2 回きたような感じがします。孫たちが遊びにきて、子供の誕生祝いをしました。子供の日に初めてデコレーションケーキを買い家族で祝い賑やかに過ごしました。新元号の令和の元となったのは、「時に、初春の令月にして、気よく風和ぐ」万葉集から出展されたそうです。鹿島区にも万葉集に、「みちのくの 真野の草原遠けども 面影にして見ゆと いふものを」という歌があります。

「幹事報告」

●観桜会の会計報告がありました。●ガバナー事務所より「分区の表示順序を固定する件」、「ロータリーカード利用推進のお願い」、「会員の訃報の対応について」連絡がきています。●4月27日 RLI 研修会に岡田幹事が出席してきました。

<<<今週のご寄付 2019 年 5 月 7 日>>>

■ ロータリー財団	計	¥6,000.	累計	¥234,000.
■ 米山奨学会	計	¥1,000.	累計	¥235,000.
■ スマイル BOX 報告	計	¥18,074.	累計	¥469,180.

青木謙二	1,000	野地会員卓話ありがとうございます
青田真	1,000	野地会員卓話ありがとうございます
大谷和年	2,000	令和元年第 1 回例会出席を記念して。
岡田義則	1,000	野地会員卓話ありがとうございます
小澤積	1,000	野地さんご苦労様でした
酒井善盛	1,000	野地会員の卓話に感謝して!!
野口美佐子	1,000	野地さんセミナー報告ありがとうございました。
野地庄蔵	1,000	本日、卓話がんばります。
門馬純子	1,000	野地さん、卓話ありがとうございました。
観桜会参加者	8,074	4月24日「観桜会」残金をスマイルへ

(円)

■ インターアクト募金報告	計	¥7,000.	累計	¥164,000.
---------------	---	---------	----	-----------

出席報告 : 会員数 29 名 出席数 10 名 出席率 34 %

南相馬ロータリークラブ Since. 2007

会長：大谷 和年 / 幹事：岡田義則

例会日：毎水曜日 12:30~13:30

例会場：ウエディングパーク 原町フローラ 南相馬市原町区高見町 2 丁目 30-6

事務局：南相馬市原町区錦町 2 丁目 68-6

TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp